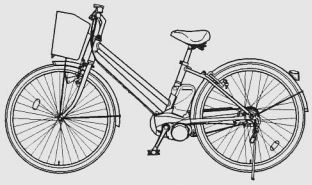
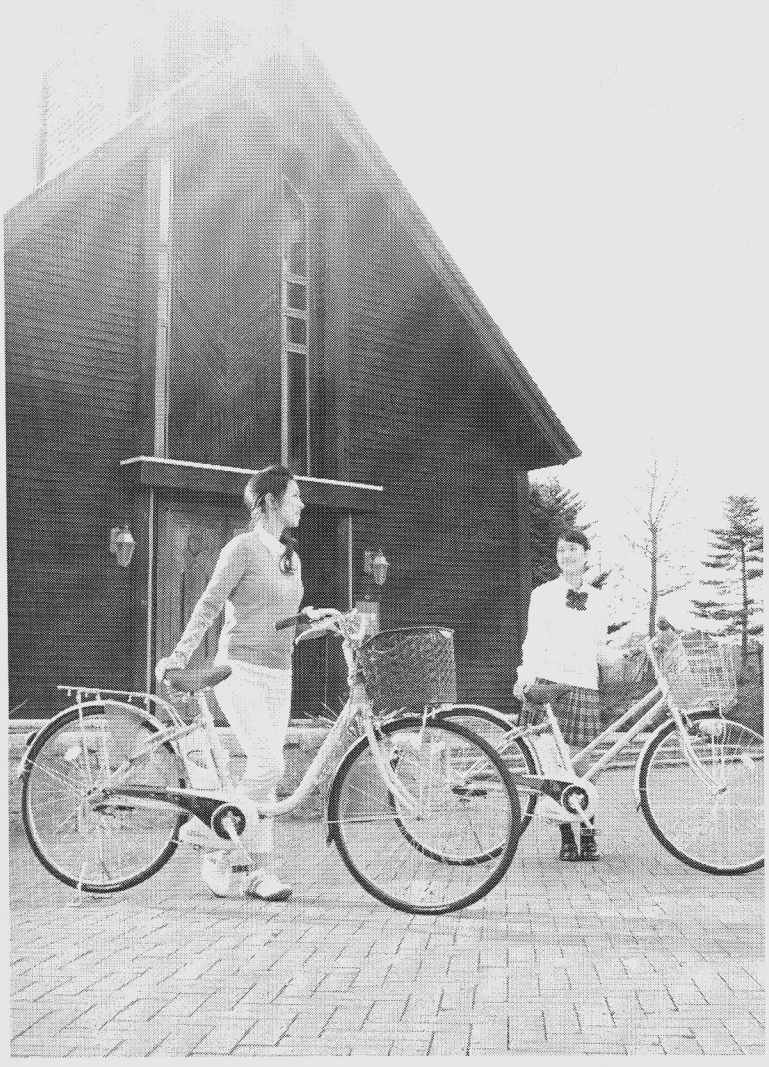
Panasonic



取扱説明書
電動アシスト自転車

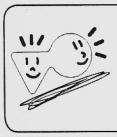
品番 BE-ENK732

Lithium ViVi SS City



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

保証書別添付



自転車のルールを守って、安全走行
- ●止まって確認、らくらく発進
- ●ライトをつけて、らくらく走行

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ●ご使用前に「**安全上のご注意**」**(4～11ページ)を必ずお読みください。**
- ●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ●お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください。

お願い

- ●この自転車は、散歩、買い物などの日常生活用として設計されています。新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- ●安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- ●万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- ●必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。(法令で義務付けられています。)

お買い求めいただいた自転車は、電動補助(アシスト) システムが付いた自転車です。
電動アシスト自転車は、普通の自転車と異なった部分があります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく、安全、快適にお乗りください。

◆お買い求めいただいた電動アシスト自転車の特長

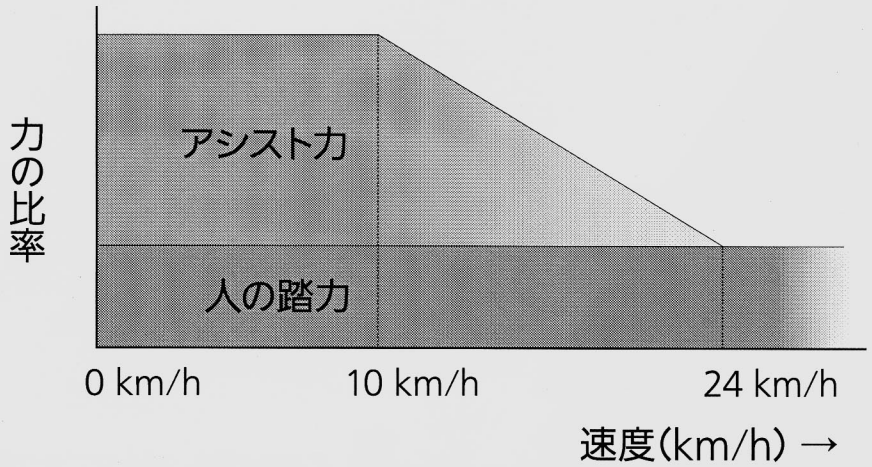
①免許証が不要です。

電動アシスト自転車は、運転免許証無しで乗ることができます。

②アシスト力の働きで楽に乗れます。

ペダルを一定以上の力で踏むとアシスト力が働き、自転車よりも軽い踏力で走行できます。
改正された道路交通法施行規則(2008 年) に適合した新基準対応モデルです。
☆下のグラフは「人の踏力」と「電動のアシスト力」との関係をイメージで表しています。

- アシスト力とアシストが働く速度範囲は、アシストモード、変速位置により変化します。
- 乗る人の踏力、道路の状況、乗員と積載荷物を含む総質量の条件により楽になる度合に差が生じます。
- アシスト率(人の踏力と電動のアシスト力との比率) は約 10 km/h から徐々に下がっていきますが、バッテリー(電池) の電力消費は 20 km/h 付近で最大となります。
- お買い求めいただいた電動アシスト自転車のアシスト力の変化は 34 ページをご覧ください。



③バッテリーが切れても、普通の自転車として走行できます。

夜間ライトがつかないときは、押して歩いてください。無灯火での夜間乗車は、法令違反になります。

④アシストモード切替機能が付いています。

バックライト付き手元スイッチのボタン操作で、平地の低アシスト走行から急坂でのパワフル走行まで自動制御する「オートマチック」が選べます。

⑤リチウムイオンバッテリーを使用しています。

メモリー効果※の心配がなく、軽量で安全性に優れた三元系リチウムイオンバッテリーを搭載しています。
※メモリー効果とは、継ぎ足し充電を何度も繰り返すことで見かけ上のバッテリーの性能が低下する状態のことです。

⑥サドルを盗難から守る「サドルガードマン」が付いています。

いたずらなどで簡単にサドルが抜きとられない機能「サドルガードマン」が付いています。

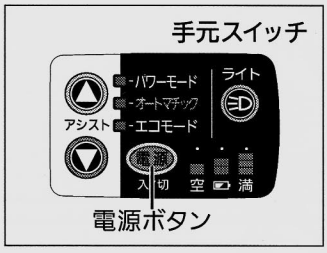
お知らせ

●次のようなときはアシスト力は働きません。

- 時速が 24 km/h 以上のとき。
- ペダルを踏む力が弱いとき、または、ペダルの回転を止めているとき。
- バッテリーの残量がなくなったとき。
- オートオフシステムが働いたとき。(電源が入った状態で 10 分以上ペダルを踏まなかったとき、自動的に電源が切れます。再度走行するときは、電源を入れてください。)

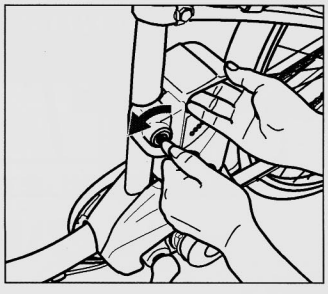
充電しましょう(1)

1. 手元スイッチの電源を切る

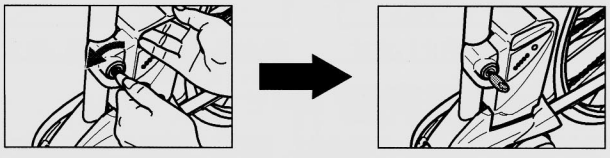


手元スイッチの電源ボタンを押して電源を切る。(全ランプ消灯)
電源を切らないでバッテリーを外すと故障の原因になります。

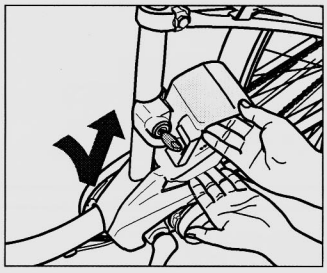
2. バッテリーロックを外し、バッテリーを引き上げる



バッテリーを支え、バッテリーロックキーを反時計方向に 45 度回す。
(開錠状態のままキーを固定できます。)
バッテリーをゆっくり手前に倒す。



開錠状態のまま固定が可能
(この状態ではキーは抜けません)

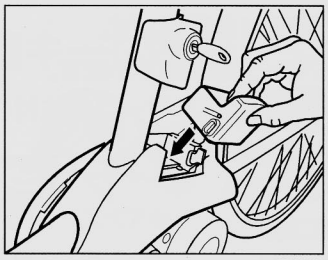


両手で支えながら引き上げて外す。バッテリーロックキーを時計方向に 45 度戻しキーを抜く。

⚠注意

■バッテリーを支えてからバッテリーロックキーをまわす

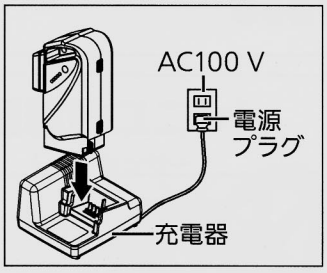
落下し、けがをするおそれがあります。



お願い

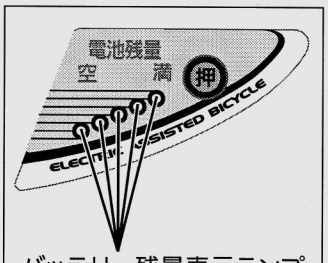
- バッテリーを取り外した後、バッテリーロックキーを抜き、保管してください。
- 長期間、バッテリーを取り外したままにするときは、汚れやほこりがつかないように、付属の端子カバーを装着してください。

3. バッテリーを充電器にセットする



電源プラグをコンセント(AC100 V) に差込み、バッテリーを充電器に奥まで押し込む。

4. 残量表示ランプを確認する



バッテリー残量表示ランプ

バッテリーの残量表示ランプの点灯(赤色)を確認する。
(充電状態に応じた表示になります。)

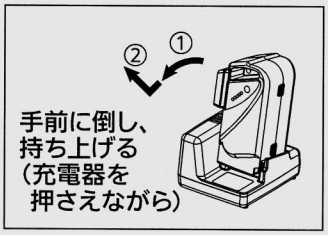
残量表示ランプ点灯・点滅(充電中) ……→ 残量表示ランプ消灯(充電完了)

●充電時間の目安(気温 20 ℃)
100 % 充電まで・・・・・約 2 時間
(充電時間は、アシストがなくなるまでバッテリーを使用したときの目安です。)

お知らせ

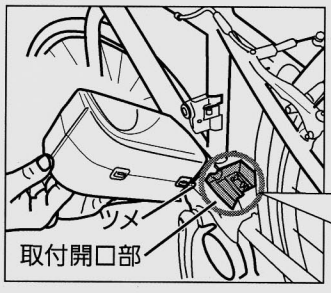
●走行直後などバッテリー内部の温度が上昇しているときは、充電できないことがあります。バッテリー内部の温度が規定温度まで下がれば、充電を開始します。
(周囲の温度にもよりますが、充電開始までに 1 ～ 2 時間かかる場合があります。)

5. バッテリーを充電器から外す

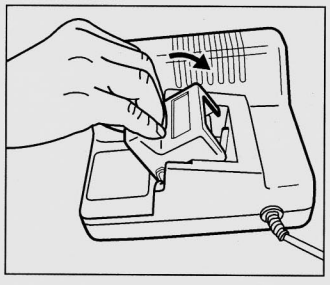


残量表示ランプが消灯(充電完了)していることを確認し、充電器を押さえながらバッテリーを外した後、コンセント(AC100 V)から電源プラグを抜く。
※充電器の待機消費電力は約 1.5 W です。

6. 自転車の取付開口部から端子カバーをはずし、バッテリーを乗せる



取付開口部溝とバッテリーのツメを合わせながら乗せる。
(残量表示ランプのある面を手前にする。)

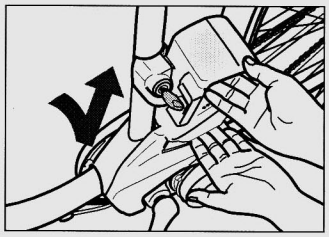


お願い

●汚れやほこりがつくのを防ぐため、取り外した端子カバーは、充電器の充電端子部にかぶせておいてください。

充電しましょう(2)

7. バッテリーを起こす



バッテリーを「カチッ」と音がするまで、垂直に起こす。
(バッテリーのカドを支点にして、弧をえがくように起こす。)

お願い

●装着後、バッテリーを手前に引いてみて、確実に装着されたことを確認してください。

⚠注意

■バッテリーが確実に装着されたことを確認する

落下し、けがをするおそれがあります。

充電するときのポイント

お願い

●初めて乗る時や1ヵ月以上乗られていない場合は、必ず充電してください。(出荷時は、満充電していません。)
●充電時の周囲気温は、5℃～35℃の場所で充電してください。(結露しないようご注意ください。)
●充電器には、水やほこりがたまらないよう、ご注意ください。
●充電器は、必ず、外装箱から出して、ご使用ください。(充電中の熱により、ケース等が変形するおそれがあります。)
●使用しなくても、3ヵ月に一度は充電してください。(☞ 38 ページ)
●テレビ・ラジオなどのそばで充電をすると、雑音が入ったり、テレビの画面がちらついたりする場合があります。その場合は、電化製品から離して(コンセントを変えるなど) 充電を行ってください。

お知らせ

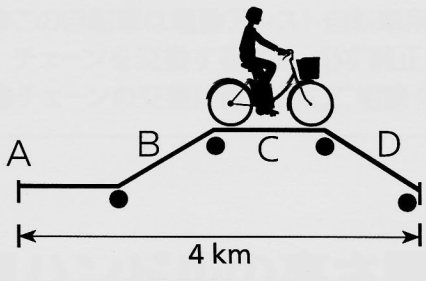
●バッテリー保護の為に、満充電からの再充電はできません。
●バッテリー温度が低い場合は、充電時間が長くなります。
●リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果がありませんので、リフレッシュ充電※は不要です。
※リフレッシュ充電とは、バッテリー性能を回復させるため一度放電させた後、充電を行うことです。

乗るまえの確認(1)

■走行距離の目安

2010年4月1日より走行距離の表示を、業界統一条件にて、より実走行に近い表示をする事となりました。当社では、2010年1月発売の新製品より、自転車協会が定める電動アシスト自転車の走行距離の測定方法に関する基準に準拠したテスト条件にて測定した走行距離を表示すると共に、しばらくは当社独自のモード走行による測定距離も併記する事としました。定められた条件で測定した走行距離（満充電後、バッテリーの残量がなくなるまでに走れる距離）の目安は下記の通りです。バッテリーの劣化度合や発進停止・加減速・登坂路走行などの頻度が高い使い方、また冬期など気温が低いときには短くなります。(☞ 31 ページ)

●新測定方法

走りかた	走行条件	走行距離(km) 5 10 15
標準パターン (業界統一新テスト条件)※ 	標準パターン(4 km) Aは、平坦路 1 km、変速 3 15 km/h Bは、4 度坂 1 km、変速 2 10 km/h Cは、平坦路 1 km、変速 3 15 km/h Dは、4 度坂 1 km、変速 3 20 km/h ●印は 10 秒間の停止を表す	11 km パワーモード 12 km オートマチック 17 km エコモード
4 度登坂連続パターン 	4 度坂、変速 2、10 km/h	3.5 km パワーモード 3.7 km オートマチック 4.9 km エコモード

※(社) 自転車協会が定める電動アシスト自転車の走行距離の測定方法に関する基準に準拠したテスト条件。
記載する一充電当たりの走行距離の測定条件は，以下の通りです。(業界統一新テスト条件)

1) 環境温度は 20 ± 5 ℃、無風の状態
2) バッテリーは新品を用い、バッテリーライトは消灯状態
3) 車載重量(乗員と荷物の合計) は 65 kg
4) 路面は乾燥した平滑な路面
5) タイヤ空気圧は標準空気圧(350 kpa)
6) シャーシダイナモ(室内計測機) による計測

●各アシストモードの詳細については、34 ページをご覧ください。

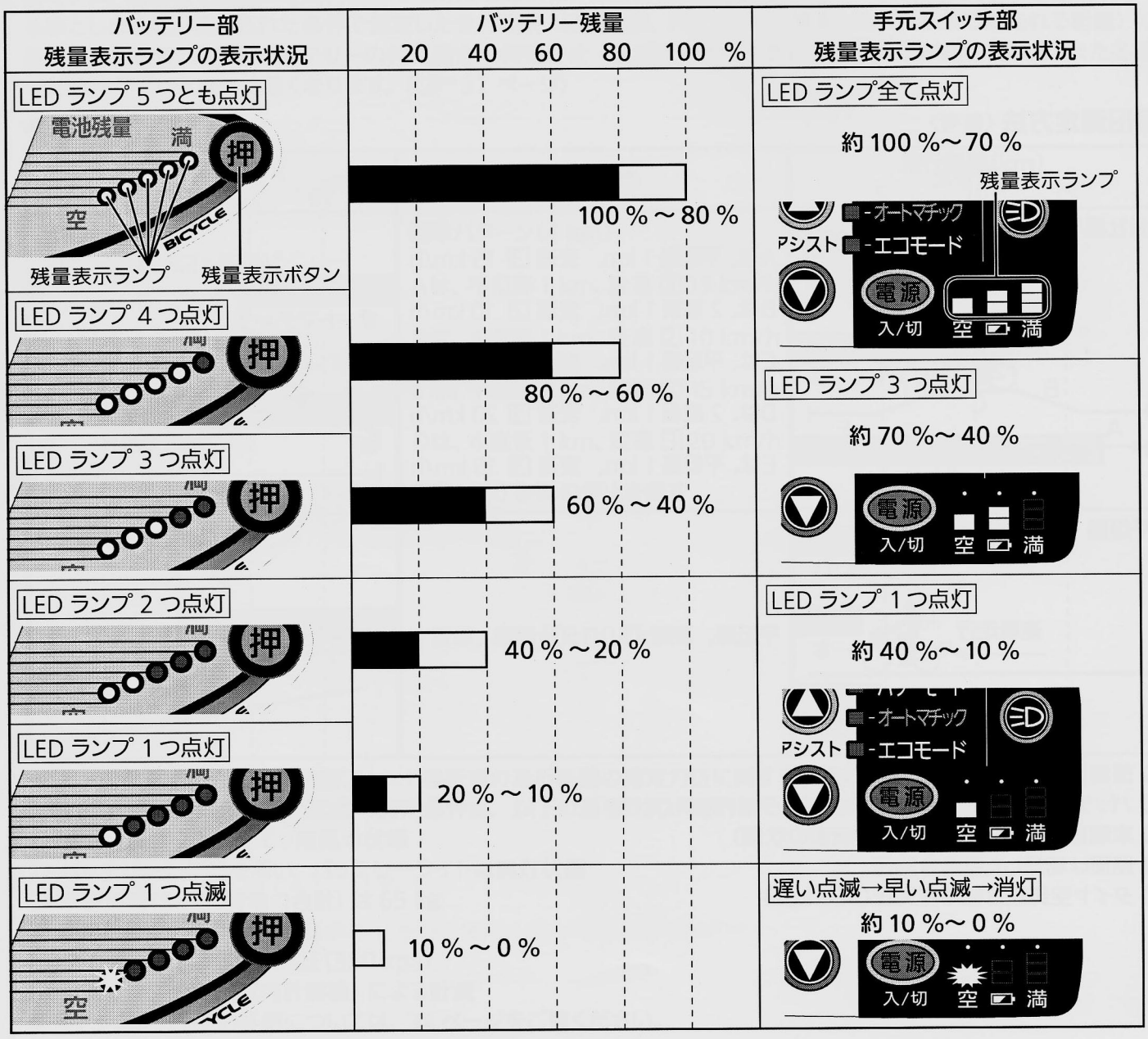
〈参考〉

平坦路連続走行 	平坦路、変速 3、15 km/h	標準パターンの 170% (オートマチック)
2 度登坂連続走行 	2 度坂、変速 2、10 km/h	4 度登坂連続パターンの 200% (オートマチック)

乗るまえの確認(2)

■バッテリーの残量 バッテリーの残量と目的地までの距離をよく確認してください。

バッテリーの容量が、どの程度残っているか、またはどの程度充電されているかを知ることができます。
バッテリーの残量表示ボタンを押すと、残量表示ランプが、残量を表示します。
(あくまでも目安としてご使用ください。)



お知らせ

- ●バッテリーが新品のときや、長期間使用されていないとき、または、厳寒の日や急な坂を登ったときは、まれに、残量表示ランプが点灯していても、アシスト力が働かないことがあります。このような時は、再度充電してください。
- ●バッテリー残量が少ない状態(空に近い状態)で一定期間放置すると保護回路が働き、電源が入らなくなる場合があります。その場合はバッテリーを充電器にセットすると解除されます。

さあ、乗りましょう!(2)

■変速のしかた

⚠警告

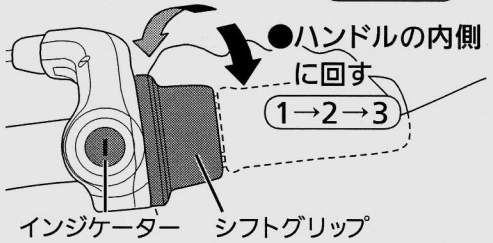
■スピードをだしすぎない

衝突や転倒による事故の原因になります。

■一度に 2 段変速しない

一気に変速すると、ショックが大きく、転倒によるけがのおそれがあります。
●1 段ずつ変速してください。

●ハンドルの外側に回す (3→2→1)



変速位置	ペダルの回転が	
	軽くなる	重くなる
1	↑	↓
2		
3		

お願い

●変速操作は、よく練習してください。
●変速時は、ペダルを止めるかペダルの踏力を弱くして変速してください。(スムーズに変速できます。)

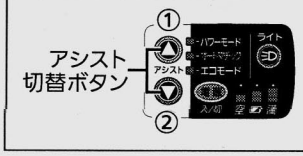
お知らせ

●ペダルを踏みながら変速したとき、変速音がして、切替が遅れることがありますが異常ではありません。

■アシストモードの切り替えかた(手元スイッチ)

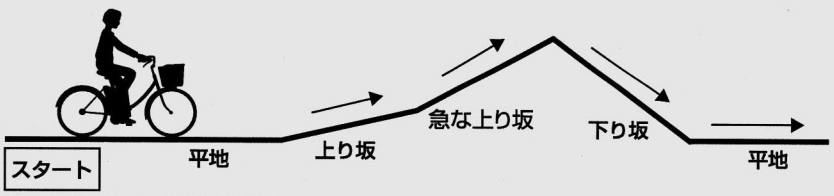
アシスト「エコモード」・「オートマチック」・「パワーモード」の切り替えは、電源が入っていれば、アシスト切替ボタンを押すだけで切り替えができます。

アシストモード



「パワーモード」……「オートマチック」モードより楽に走行できますが走行距離は短くなります。
①↑ ↓②
「オートマチック」……通常はこのモードで走行します。
①↑ ↓②
「エコモード」……アシスト力を自動的に低減させ、走行距離を伸ばします。

●アシスト力の変化



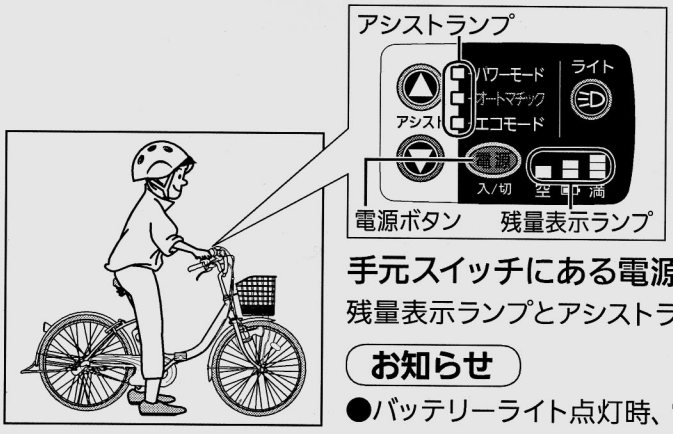
モード設定／走行条件	走行条件とアシスト力					
	スタート	平　地	上り坂	急な上り坂	下り坂	平　地
『パワーモード』	強	強	強	強	オフ	強
『オートマチック』	強	中	強	強	オフ	中
『エコモード』	中	弱	中	中	オフ	弱

お知らせ

●電源を入れた時は、前回電源を OFF した時のモードで起動します(オートメモリー機能)。坂道や重い荷物を載せて走行する時は、アシスト切替ボタンを押し、「パワーモード」にしてください。
●電動アシスト自転車になれるまでは「エコモード」で走行してください。
●下り坂等でペダルが軽くなると、すべてのモードで自動的にモーターが止まり無駄な電力消費を抑えます。
●アシスト切替ボタンの「△」と「▽」を押し過ぎてもアシストモードは一巡しません。

乗ったあとの駐輪・施錠

1. 自転車から降りる前に手元スイッチの電源を切る

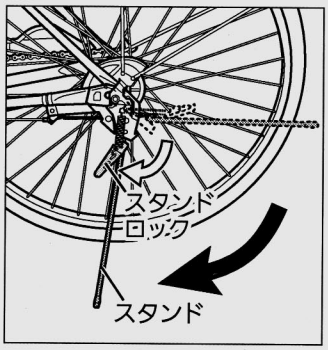


手元スイッチにある電源ボタンを押して、電源を切る。
残量表示ランプとアシストランプが消灯する。

お知らせ

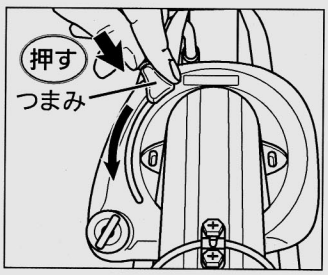
●バッテリーライト点灯時、電源を切ると、ライトは消灯します。

2. 駐輪する

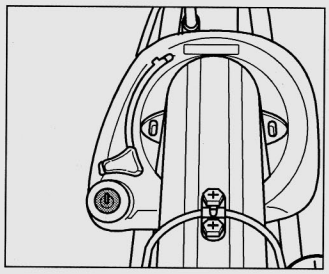


ブレーキを握ったまま、サドルから降りる。
スタンドを立てる。
（スタンドロックが自動的にかかることを確認してください。）

3. 後輪サークル錠を施錠する



後輪サークル錠のつまみを押し込みながら下へ止まるまで回し、施錠する。



キーを抜く。

お願い

●盗難防止のため、キーを付けたまま駐輪しないでください。
●駐輪場など、決められた場所に駐輪してください。

お知らせ

●開錠方法は、32 ページをご覧ください。

故障かな？！

まず、次の表に従ってお調べいただき、直らないときは、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

	症　状	対処方法	ページ
ペダルが重い・アシストしない	手元スイッチのアシストランプ、残量表示ランプが点灯しない	●バッテリーが確実に取り付けられていますか？ ⇨バッテリーを確実に取り付けてください。	16～18
		●バッテリーの残量表示ボタンを押した時に、2・4番目のLEDランプが点滅すれば、保護機能が働いています。 ⇨バッテリーを充電してください。	—
	バッテリーの残量表示ランプが点灯しない	●バッテリーの残量表示ボタンを押した時に、LEDランプがすべて点灯しない場合、保護機能が働いています。 ⇨バッテリーを充電してください。 ※充電しても表示が戻らない場合は販売店にご相談ください。	—
	手元スイッチの残量表示ランプが早い点滅をしたり、点灯しない	●充電ができていますか？ ⇨バッテリーを充電してください。	16～18
	手元スイッチの残量表示ランプとアシストランプが交互に1回ずつ点滅する	●ペダルを踏みながら、電源ボタンを押しませんでしたか？ ⇨ペダルを踏まないで、電源ボタンを押して、電源を入れてください。	32
	手元スイッチの残量表示ランプが2回、アシストランプが1回の割合で点滅する	●駆動ユニットの異常です。 ⇨販売店に修理をご依頼ください。	—
	手元スイッチの残量表示ランプは残量を表示するが、アシストランプが点滅する	●駆動ユニットが過負荷のため、保護モードに入っています。 ⇨変速を軽にするなどを行い、軽負荷で走行してください。しばらくすると正常に戻ります。 ※保護モードに入るとアシスト力が制限されます。そのまま走行していただいても問題ありません。表示が戻らない場合は販売店にご相談ください。	—
	補助（アシスト）が切れたり入ったりする	●配線がゆるんでいたり、端子が汚れていませんか？ ⇨販売店にご相談ください。	—
	補助（アシスト）しない	●停止して10分以上たっていませんか？（オートオフシステム） ⇨電源ボタンを押して、電源を入れ直してください。	32
充電できない	バッテリーの残量表示ランプが点灯しない	●バッテリーが正しく挿入されていますか？ 充電器のバッテリー挿入部がよごれていませんか？ ⇨よごれを取り除き、バッテリーを正しく挿入してください。	16～18
		●満充電ではありませんか？ ⇨バッテリーの残量表示ボタンを押して、チェックしてください。満充電からの再充電はできません。 一度使用してから、充電してください。	—
		●残量表示ボタンを押した時、LEDランプが流れるように点滅する場合はバッテリーの故障が考えられます。 ⇨販売店にご相談ください。	—
	充電中、バッテリーの残量表示ランプの1, 3, 5番目のLEDが点滅する	●バッテリー内の温度が0℃～40℃の範囲外になっています。 ⇨温度が0℃～30℃の場所に移し、約2時間待ってください。	—

症　状		対処方法	ページ
走行距離が短い	手元スイッチの残量表示ランプが短い走行で点滅を始める ▶	●充電ができていますか？ ●長期間使用せずに、放置されていませんでしたか？ ⇨バッテリーを充電してください。	16～18
		●初めて使用するバッテリーではないですか？ ⇨バッテリーを充電してください。	16～18
		●道路条件や変速位置、苛酷な走行により、走行距離が、短くなります。	28～29
		●冬期は、バッテリーの特性上性能の低下が大きくなります。	31
		●タイヤの空気圧が低下していませんか？ ⇨自転車用ポンプを使って空気を入れてください。	25
		●ブレーキの調整は正しくできていますか？ ⇨ブレーキの調整をしてください。	22～23
		●繰り返しの充電や長時間の使用でバッテリーは劣化（性能低下）します。 ⇨１回の充電で走行できる距離が著しく短くなった場合（新品時の約 60%以下）は、新しいバッテリーに交換してください。	38
バッテリーや充電器が熱くなる（発火の心配） ▶		●充電中、充電器は多少熱くなります。 ⇨異常ではありません。	—
		●手で触れられないほど熱い場合は、異常です。 ⇨ただちに使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。	—
充電が完了したのに残量表示ランプが５個全部点灯しない ▶		●充電途中で電源プラグを抜きませんでしたか？ ⇨再度充電してください。	16～18
		●充電器の端子が汚れていませんか？ ⇨乾いた布等で清掃してください。	—
		●長期間使用されたバッテリーですか？ ⇨バッテリーの寿命です。販売店にご相談ください。	—
ペダルに振動を感じる ▶		●ペダルに足を乗せた状態での停車時に振動を感じる場合がありますが、モーター固有の特性ですので、故障ではありません。	—

仕　様

品　名		リチウムビビ・SS シティー
品　番		BE-ENK732
寸法	全　長	1,870 mm
	全　幅	575 mm
	ハンドル高さ	990 mm ～ 1,060 mm
	サドル高さ	770 mm ～ 930 mm
	タイヤ	27 × 1 3/8　WO
	軸間距離	1,141 mm
総車両質量		23.6 kg
フレーム		スタッガード形
ハンドルバー		オールランダー（アルミ製）
バスケット		ステンレス製
リフレクタ		バスケット下・後どろよけ・前後車輪・ペダルに取付
スタンド		1 本スタンド（鉄製）
リヤキャリヤ		オプション（ステンレス製　クラス 25）
補助速度範囲 変速3の位置		24 km/h 未満
充電 1 回の走行距離 （標準パターン）		11 km※　（パワーモード使用時）
モーター形式 定格出力		直流ブラシレスモーター　250 W
補助力制御方式		踏力比例制御
バッテリー	品　番	NKY275B02
	種　類	リチウムイオンバッテリー
	容　量	25.2 V－3.1 Ah
	質　量	約　1.2 kg
充電器	品　番	NKJ033B
	形　式	スタンド型
	電　源	AC100 V（50 Hz ／ 60 Hz）
	充電時間	約　2 時間
	質　量	約　0.7 kg
	消費電力	約　80 W
	待機消費電力	約　1.5 W
変速機方式		内装 3 段シフト
駆動方式		インラインドライブ
制動装置	前　輪	サイドプル形キャリパブレーキ
	後　輪	ローラーブレーキ
照明装置		バッテリー式前照灯
施錠方式		後輪サークル錠
乗車適応身長		145 cm 以上

●乗車適応身長は、個人差がありますので、目安としてください。
●寸法や質量等の値は、部品のばらつきや仕様変更により、誤差が生じる場合があります。
●仕様変更などにより写真、イラストや内容が一部実車と異なる場合があります。
●バッテリーの寿命は、使用期間で 1 年半～ 2 年間、または充・放電回数で 300 ～ 400 回です。
　このときのバッテリー容量は、初期の約 60 %に低下します。（保証回数・期間ではありません。）
●この車種は、乗員体重を 65 kg で基本設計しています。従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、各部の消耗度合、劣化度合が大きくなります。走行距離も、『標準パターン』に対して短くなります。
※走行条件：環境温度は 20 ± 5℃、無風の状態、バッテリーは新品、バッテリーライトは消灯状態、車載重量（乗員と荷物の合計）は 65kg、路面は乾燥した平滑な路面、タイヤ空気圧は標準空気圧。